

## 「いつでも、どこでも、何があっても主を探し求める」

主任牧師：重田 稔仁

＜マタイによる福音書 8章 23～27節 新共同訳＞

-嵐を静める-

イエスが舟に乗り込まれると、弟子たちも従った。  
そのとき、湖に激しい嵐が起こり、舟は波にのまれそうになった。イエスは眠っておられた。  
弟子たちは近寄って起こし、「主よ、助けてください。おぼれそうです。」  
と言った。  
イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。信仰の薄い者たちよ。」  
そして、起き上がって風と湖とをお叱りになると、すっかり凪になった。  
人々は驚いて、「いったい、この方はどういう方なのだろう。風や湖さえも従う  
ではないか」と言った。

---

＜メッセージ＞

嵐に遭遇した弟子たちは、舟が沈みそうになっていたときにあわてふためいていましたが、イエス様はスヤスヤと休んで寝ておられました。イエス様を起こした弟子たちに向かってイエス様は、「なぜ怖がるのか。信仰の薄い者たちよ。」とおっしゃった。

なぜイエス様はそのようにおっしゃったのか？怖がらないわけがない状況下で言われた言葉はとても冷たい響きもしますが、「信仰の薄い」という言葉は「小さい」という意味でもあります。

何故、弟子たちの信仰が小さくなったのでしょうか？

弟子たちが、風に逆巻く波を見て恐れたからでしょうか。おそらくそうでしょう。恐れで疑いを抱いたからです。

これと同じような記事がマタイ 14章にあります。

明け方に湖の上を歩いて弟子たちが乗る船に近づいたイエス様に、自分も湖を歩きたいと申し出て、イエス様に歩かせてもらったペテロが波を見て怖くなり溺れそうになったペテロを助けたイエス様がペテロにかけた言葉が 14:31 にあります。

「イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。」 マタイによる福音書 14:31 新共同訳

マタイ 8 章と 14 章の記事は、恐れが人に疑いを引き起こし、その信仰を薄くする、小さくすること教えています。

何故、疑いは信仰を小さくするのか。

主が共にいますという事実

嵐の湖上にいるという事実

と言う、二つの事実に心が分かれたため弟子たちは、イエス様が共におられるという事実を過小評価したのです。(信仰が薄くなった)

じゃあ弟子たちは、どうすればよかったのか？

心を一つにして主を信じれば良かった。すなわち脇目をふらず、ひたすら主が共におられるという事実に心を傾けたらよかったのか。

人は、心を一つになんかできない、たとえ出来たとしても長続きしない。

私のような凡人は、それが痛い程わかります。

では凡人は、どうしたら良いのか。

恐れれば、恐れるほど、疑えば、疑うほど、

いつでも、どこでも、何があっても

主を探し求める、尋ね求める

イザヤ 55:7

エレミヤ 29:13~14

聖書では「神を信じなさい」との勧めを「神を探し求めなさい」と表現している箇所が多くあります。

エレミヤ書 29 章 13 節では「バーカシュ（ヘブル語）」という言葉（意味：主を探し求めよ）がよくつかわれています。

「義を追い求める者、主を尋ね求める者よ。わたしに聞け。あなたがたの切り出された岩、掘り出された穴を見よ。あなたがたの父アブラハムと、あなたがたを産んだサラのことを考えてみよ。わたしが彼ひとりと呼び出し、わたしが彼を祝福し、彼の子孫をふやしたことを」（イザヤ 51：1-2）

## 新約聖書

- マタイの福音書 6 章 33 節「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。」
- 同、7 章 7 節「求めなさい。そうすれば与えられます。」
- 同、13 章 45 節「天の御国は、良い真珠を捜している商人のようなものです。」

私たちがいつでも、どこでも、何があっても主を尋ね、探し求めるとき、主はご自身を探し求めるものと必ず出会ってくださる！これが聖書が説く、信仰の奥義です。

何故、主は主を探し求めるものと出会ってくださるのか。  
主ご自身がそもそもの私たちを探しておられるから。

実は、「熱心に探し求める」のは私たちだけではありません。主も私たちを熱心に探し求めているのです。

その真理を説く代表的な聖書物語がルカによる福音書 19 章にあるザアカイの物語です。19:3 に主イエスの評判を耳にしたザアカイが一目イエスを見ようとした様子が描かれています。「イエスがどんな人か見ようとしたが、背が低かったので、群衆に遮られて見るができなかった。」は、イエスがどんな方か見ようとした」というギリシャ語の単語、実は 19:10 のイエスがそんなザアカイに目を留めて呼びかけた、「人の子は、失われた人を探し出して」の探し出してと言う単語は、同じギリシャ語「ゼーテオー」探し求めると言う単語が用いられています。何が言いたいかと言うと、人が神を探し求めるなら、神は人と出会ってくださると言うことです。

私たちは、疑わずにはいられない生き物です。私たちの信仰は実際いつも薄くなるという事実を認めざるを得ません。

そんな私たちが、主を探し求めるなら主が私たちを探し求めておられるので私たちは必ず主を見出し、主と出会うことができるのです。

嵐の湖で主を見失なった弟子たちのように私たちも人生、様々な困難で恐れに取り憑かれてしまうときがあるでしょう。そんなときは、私たちを探し求めておられる主の愛しみを思い出させていただきましょう。

信仰が小さくても構いません、  
いつでも、どこでも主を探し求めるものとさせていただきましょう。

それが、主の私たちへの願いですから